

2024 年度福岡ブロックアワードエントリーシート

LOM 名	一般社団法人久留米青年会議所	
事業名	4 月例会 みらくるフェスタ～防災・減災を学び、未来を守ろう！～	
事業担当者	未来創造委員会 委員長 早田耕一郎	
事業担当者連絡先	Tel: 090-6293-0226	Mail: koichirobin@yahoo.co.jp
実施に至った背景	<p>当 LOM が所在する久留米市は近年、日本で最も高い頻度で豪雨被害を受けている自治体の一つです。その中で私たち会員を含めて、災害への危機感が高まりつつありますが、具体的な行動には十分に繋がっていません。行政機関においても防災施策を様々取り組んでいますが、市民に対して周知や啓発が進んでいない現状があります。防災・減災について意識を高め、当事者意識を持ち、災害時に備える必要があります。</p>	
事業の目的	<p>(会員の目的)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会員一人ひとりの防災・減災の意識の向上を目的とします。・ 災害時に身を守る、周囲を守る、周囲への防災・減災意識を持たせることが可能な人財となることを目的とします。 <p>(対外参加者の目的)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域住民が災害に備えることを目的とします。・ 地域住民の防災・減災意識を向上させることを目的とします。・ 久留米青年会議所の運動を理解していただくことを目的とします。	
事業の概要	<p>主に小学生の子供連れファミリー層での来場を想定し、防災についての知識、特に当地で頻発する水害について具体的に行動に移せるような知見を身につけていただくために、子供向けには興味を持って体験できる催しを中心として、体験していただく間に大人は実践につながる防災の知識を身につけていただける展示や講話を中心とした内容を提供しました。またワンストップで実際に防災に対する動きをその場で取っていただくため、防災グッズを販売するブースも設けました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 屋外	

	<p>国交省、県警、久留米広域消防による防災車両展示、 地震体験車 スモーク迷路（煙が充満した迷路を逃げる訓練体験） 消火器体験、土のう作り体験、瓦礫搬出体験 ・屋内 防サイエンスショー（防災に関する化学実験ショー） 床下浸水模型展示 防災ガラス展示 市議会議員による防災対談 久留米市防災対策課による防災講話 避難所体験 メタバース体験 防災スリッパ作り体験 防災グッズ販売 など</p>			
<p>広報戦略</p>	<p>久留米市および久留米市教育委員会に後援をいただくことで、教育委員会から各学校に配布物を送るシステムを利用して、市内全児童にチラシが確実に行き渡るよう配慮を行なった。また LOM の公式アカウント、会員それぞれのアカウントの双方を用いて SNS でも積極的に配信を行なった。</p>			
<p>実施による工夫</p>	<p>久留米市は近年我が国において、最も高い頻度で水害被害を受けている自治体ということもあり、市民の災害に対する危機意識は高いものがあります。しかしながら、市民の意識は高くても、災害について学ぶべきことや効果的な防災準備まで具体的に準備が進んでいるとは言えない状況でした。そこで、本事業では防災に必要となる災害時の心構えや災害知識を全ての年齢層に学んでいただいた上で、最終的な災害に対する準備まで完結できるようイベントの中で防災グッズを販売するコーナーを設け、ワンストップで知識の習得から災害への具体的準備までできる自己完結型の事業にすべく工夫しました。</p>			
<p>事業の参加者</p>	<p>会員数</p>	<p>84 名</p>	<p>参加率</p>	<p>%</p>
	<p>対外目標</p>	<p>1580 名</p>	<p>達成率</p>	<p>%</p>

事業対象者	主に久留米市内在住の小学生を含む親子
開催期間日時	2024年4月20日(土) 10:00-18:00
開催場所	久留米リサーチパーク、百年公園
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続
結果	<p>1. 目的がどのくらい達成できたか</p> <p>対内目的については、アンケートの結果、ほぼ100パーセントの会員が防災の重要性を認識できたとの答えがあったため、達成したといえます。</p> <p>対外参加者についてもアンケート結果は会員同様に防災の重要性を認識できたとの回答がほぼ100%であったため、参加いただけただけの方については、掲げていた目標自体は達成できたと考えています。</p> <p>2. 上記の結果の確認方法</p> <p>アンケートや来場者リストバンドを利用した参加者数の計測</p> <p>3. 検証結果</p> <p>参加いただけただけの方については上述の通り目標を達成することができたと評価していましたが、天候の影響もあり、来場者目標1500人に対して668名の来場に留まりました。来場いただいた方のアンケート結果は良かったため、余計に雨天時にも対応できるような設えや集客方法を考えておくことが大切だと改めて感じました。</p>
LOM や地域社会への影響	<p>・地域社会への影響</p> <p>アンケート結果から、多くの市民に対し、防災に対する理解度を深められたことが伺え、そういった市民を増やせたことは地域社会の防災力の向上に直接的につながったと認識しています。それに加え、今回の事業では久留米青年会議所をハブとして、多くの行政機関や民間団体を繋げて事業をすることができました。事業の間、そういった団体間でも様々な情報交換が行われました。そのため、行政機関と他の民間団体との繋がりも強固にすることができましたので、間接的な面においても地域全体の防災力の向上につながる成果があったものと認識しています。</p> <p>・LOM への影響</p>

	<p>前述の通り、久留米青年会議所をハブとして多くの団体を連結して活動したため、LOMとして多くの行政機関や民間団体と交流を持つことができました。そういった交流を通じて会員の防災意識の向上につながったことはもちろんですし、今回の例会運営での交流を通じて、今後、本事業以外の事業構築についても協力関係を築いていくことで認識は一致を見ているため、今後のLOMの事業の幅も拡大する効果が期待できるものと確信しております。</p>
<p>事業の長期的な影響</p>	<p>今回の事業では小学生の子供がいるファミリー層をメインターゲットとしましたが、参加された方は今後末長く地域社会に関わりを持たれる年代の方でいらっしゃるから、長期的にも地域社会に好意的な影響があると考えておりますし、また、今回事業にご参加いただいた皆様はもちろんのこと、事業に協力いただいた他団体の方々にも久留米青年会議所が防災など地域貢献に取り組む団体であることをアピールできましたので、長期的な視点で捉えると久留米青年会議所のブランディング効果もあったのではないかと考えています。</p>
<p>考察や推奨</p>	<p>今回の事業では1500名の集客目標に対して、参加者は700名程度にとどまりました。屋外が展示の中心となるイベントではありましたが、当日の天候が雨だったことは集客に対して大きな阻害要因になったと思いますが、天候の悪条件を差し引いても広報手法については改善の余地があると考えています。4月の事業でしたので、市内小学校への告知の時期は年度変わってからにしようか前年度にあらかじめ告知しようか判断に迷いましたが、チラシの印刷費はそこまで大きな費用はかからないので、学校と協力して2回告知を行うという選択肢はあって良かったのではないかと思います。また、メディアに積極的に広報を行っていただくという意味でも、メディアへの後援申請は済ませておくべきです。</p>

事業風景(写真)



